

1 修善寺温泉史跡・文学散歩

源氏三代の悲劇の舞台となつた伊豆の名門・古湯に文人の足跡を訪ねる



『伊豆修善寺文学と花のみち』は、平成27年、「文化の道100選」に選ばれました。



▲修善寺梅林

0 100m 500m

修善寺温泉は弘法大師が発見したと伝わる伊豆最古の温泉。歴史と自然に囲まれた温泉地は、源氏三代の悲劇の舞台となつた所。桂川をはさんで温泉情緒たっぷりの風情が残り、古くから多くの文人墨客が訪れ、沢山の名作を残している。岡本綺堂の「修禅寺物語」もその一つである。修善寺駅から修善寺温泉駅行き、若しくは戸田行きのバスで7分、修善寺温泉駅で下車。みやげ物店が並ぶ温泉街を行くと日枝神社がある。境内には大きな夫婦杉や天然記念物のイチイガシ、源範頼が住んでいた隣が修禅寺。寺の前を流れる桂川の中には「独鉢の湯」がある。その昔、冷たい川の水で病いの父親の体を洗う少年に心打たれた弘法大師

が、手に持っていた仏具の独鉢杵で川の岩を砕き、靈泉を湧出させて温泉療法を教えたと伝わる伊豆最古の温泉である。毎年4月21日には大師の靈前に献湯する湯汲み式が行われている。

福地山修禅寺は平安初期、弘法大師の開基と伝わる名刹。宝物館（瑞宝藏）には岡本綺堂の名作「修禅寺物語」のヒントになった「源範頼の面」や政子署名の放光般若波羅密多經、頼家の陣旗、範頼の馬具などが展示されているほか天井には川端龍子の「玉取龍」が描かれている。鐘楼脇の竹林から寺の裏手に回り、静かな住宅街を範頼の墓へと向かう。源範頼は兄頼朝の誤解を受けて修禅寺に幽閉され、後に梶原景時に攻められ、信功院で自害している。

「ギャラリーしゅぜんじ回廊」がある。回廊式展示場で修善寺の歳時記や花、山野草、日本画などを写真を用いて展示している。特に春の桜名所、秋の紅葉名所の写真展は好評だ。赤い桂橋を渡ると竹林の小径に入り、真ん中に直径4mの竹製の円形ベンチがあり、ここに寝そべって空を見上げるドリフレッシュできる。歩道の境界には桂垣や光悦寺垣、建仁寺垣などが使われている。

指月殿は一切経堂とも呼ばれる政子

が、わが子・頼家の冥福を祈つて「宋

版大藏經」と共に修禅寺に寄進した

もので、禅宗式の珍しい形の丈六釈迦如来座像が祀られている。

墓は立派な五輪の塔で温泉場外れ

の高台にひっそりと佇んでいる。畑の中を下って広い舗装道を横断し

「風の徑」を行くと赤蛙公園。島木

健作の短編「赤蛙」の取材地で梅や

杉の木立に囲まれた池には蛙の像が

ある。

川沿いに竹垣のある小道を行くと

「ギャラリーしゅぜんじ回廊」があ

る。回廊式展示場で修善寺の歳時記

や花、山野草、日本画などを写真を

使って展示している。特に春の桜名

所、秋の紅葉名所の写真展は好評だ。

赤い桂橋を渡ると竹林の小径に入

り、真ん中に直径4mの竹製の円形

ベンチがあり、ここに寝そべって空

を見上げるドリフレッシュできる。

歩道の境界には桂垣や光悦寺垣、建

仁寺垣などが使われている。

指月殿は一切経堂とも呼ばれる政子

が、わが子・頼家の冥福を祈つて「宋

版大藏經」と共に修禅寺に寄進した

もので、禅宗式の珍しい形の丈六釈

迦如来座像が祀られている。

墓は立派な五輪の塔で温泉場外れ

の高台にひっそりと佇んでいる。畑の中を下って広い舗装道を横断し

「風の徑」を行くと赤蛙公園。島木

健作の短編「赤蛙」の取材地で梅や

杉の木立に囲まれた池には蛙の像が

ある。

川沿いに竹垣のある小道を行くと

「ギャラリーしゅぜんじ回廊」があ

る。回廊式展示場で修善寺の歳時記

や花、山野草、日本画などを写真を

使って展示している。特に春の桜名

所、秋の紅葉名所の写真展は好評だ。

赤い桂橋を渡ると竹林の小径に入

り、真ん中に直径4mの竹製の円形

ベンチがあり、ここに寝そべって空

を見上げるドリフレッシュできる。

歩道の境界には桂垣や光悦寺垣、建

仁寺垣などが使われている。

指月殿は一切経堂とも呼ばれる政子

が、わが子・頼家の冥福を祈つて「宋

版大藏經」と共に修禅寺に寄進した

もので、禅宗式の珍しい形の丈六釈

迦如来座像が祀られている。

墓は立派な五輪の塔で温泉場外れ

の高台にひっそりと佇んでいる。畑の中を下って広い舗装道を横断し

「風の徑」を行くと赤蛙公園。島木

健作の短編「赤蛙」の取材地で梅や

杉の木立に囲まれた池には蛙の像が

ある。

川沿いに竹垣のある小道を行くと

「ギャラリーしゅぜんじ回廊」があ

る。回廊式展示場で修善寺の歳時記

や花、山野草、日本画などを写真を

使って展示している。特に春の桜名

所、秋の紅葉名所の写真展は好評だ。

赤い桂橋を渡ると竹林の小径に入

り、真ん中に直径4mの竹製の円形

ベンチがあり、ここに寝そべって空

を見上げるドリフレッシュできる。

歩道の境界には桂垣や光悦寺垣、建

仁寺垣などが使われている。

指月殿は一切経堂とも呼ばれる政子

が、わが子・頼家の冥福を祈つて「宋

版大藏經」と共に修禅寺に寄進した

もので、禅宗式の珍しい形の丈六釈

迦如来座像が祀られている。

墓は立派な五輪の塔で温泉場外れ

の高台にひっそりと佇んでいる。畑の中を下って広い舗装道を横断し

「風の徑」を行くと赤蛙公園。島木

健作の短編「赤蛙」の取材地で梅や

杉の木立に囲まれた池には蛙の像が

ある。

川沿いに竹垣のある小道を行くと

「ギャラリーしゅぜんじ回廊」があ

る。回廊式展示場で修善寺の歳時記

や花、山野草、日本画などを写真を

使って展示している。特に春の桜名

所、秋の紅葉名所の写真展は好評だ。

赤い桂橋を渡ると竹林の小径に入

り、真ん中に直径4mの竹製の円形

ベンチがあり、ここに寝そべって空

を見上げるドリフレッシュできる。

歩道の境界には桂垣や光悦寺垣、建

仁寺垣などが使われている。

指月殿は一切経堂とも呼ばれる政子

が、わが子・頼家の冥福を祈つて「宋

版大藏經」と共に修禅寺に寄進した

もので、禅宗式の珍しい形の丈六釈

迦如来座像が祀られている。

墓は立派な五輪の塔で温泉場外れ

の高台にひっそりと佇んでいる。畑の中を下って広い舗装道を横断し

「風の徑」を行くと赤蛙公園。島木

健作の短編「赤蛙」の取材地で梅や

杉の木立に囲まれた池には蛙の像が

ある。

川沿いに竹垣のある小道を行くと

「ギャラリーしゅぜんじ回廊」があ

る。回廊式展示場で修善寺の歳時記

や花、山野草、日本画などを写真を

使って展示している。特に春の桜名

所、秋の紅葉名所の写真展は好評だ。

赤い桂橋を渡ると竹林の小径に入

り、真ん中に直径4mの竹製の円形

ベンチがあり、ここに寝そべって空

を見上げるドリフレッシュできる。

歩道の境界には桂垣や光悦寺垣、建

仁寺垣などが使われている。

指月殿は一切経堂とも呼ばれる政子

が、わが子・頼家の冥福を祈つて「宋

版大藏經」と共に修禅寺に寄進した

もので、禅宗式の珍しい形の丈六釈

迦如来座像が祀られている。

墓は立派な五輪の塔で温泉場外れ

の高台にひっそりと佇んでいる。畑の中を下って広い舗装道を横断し

「風の徑」を行くと赤蛙公園。島木

健作の短編「赤蛙」の取材地で梅や

杉の木立に囲まれた池には蛙の像が

ある。

川沿いに竹垣のある小道を行くと

「ギャラリーしゅぜんじ回廊」があ

る。回廊式展示場で修善寺の歳時記

や花、山野草、日本画などを写真を

使って展示している。特に春の桜名

所、秋の紅葉名所の写真展は好評だ。

赤い桂橋を渡ると竹林の小径に入

り、真ん中に直径4mの竹製の円形

ベンチがあり、ここに寝そべって空

を見上げるドリフレッシュできる。

歩道の境界には桂垣や光悦寺垣、建

仁寺垣などが使われている。

指月殿は一切経堂とも呼ばれる政子

が、わが子・頼家の冥福を祈つて「宋

版大藏經」と共に修禅寺に寄進した

もので、禅宗式の珍しい形の丈六釈

迦如来座像が祀られている。

墓は立派な五輪の塔で温泉場外れ

の高台にひっそりと佇んでいる。畑の中を下って広い舗装道を横断し

「風の徑」を行くと赤蛙公園。島木

健作の短編「赤蛙」の取材地で梅や

杉の木立に囲まれた池には蛙の像が

ある。

川沿いに竹垣のある小道を行くと

「ギャラリーしゅぜんじ回廊」があ

る。回廊式展示場で修善寺の歳時記

や花、山野草、日本画などを写真を

使って展示している。特に春の桜名

所、秋の紅葉名所の写真展は好評だ。

赤い桂橋を渡ると竹林の小径に入

り、真ん中に直径4mの竹製の円形

ベンチがあり、ここに寝そべって空

を見上げるドリフレッシュできる。

歩道の境界には桂垣や光悦寺垣、建

仁寺垣などが使われている。

指月殿は一切経堂とも呼ばれる